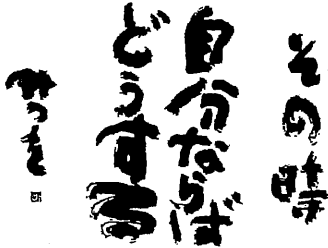


さくら第497号

令和 3年 5月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7: TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『工夫した環境づくりが大事』

古来、『文章三上・ふんしょう さんじょう』といい、アイデアを練り、考えをめぐらすには、馬上(ばじょう)・枕上(ちんじょう)・厠上(しじょう)といわれています。すなわち、馬に乗っている時、枕の上とは寝床にいる時、厠(かわや)というのはトイレに入っている時によい考えが浮かぶようです。一人になる場所のようです。

今の時代では馬には乗れないから車や電車の中ともいえます。風呂の中が気分もやすらぎ良いアイデアが浮かぶという人もいます。

そして大事なことは環境だともいいます。勉強しやすい場所とはどこでしょうか。人それぞれですが次のような例え話があります。

『孟母三遷の教え・もうぼさんせんのおしえ』とは、よりよい環境をさがして三度も住む場所を替えたという故事です。

今から約1000年ほど前の中国に孟子(もうし)という子がいました。お寺の近くに住んでいると孟子は友だちと葬式ごっこばかりするので母は商店がある所へ引っ越すと今度は商売のまね事をしてお金についての遊びばかりするようになりました。

そこで学校の近くへ引っ越ししました。すると今度は礼儀作法などをしっかり身につけるようになり母親は喜んだといえます。

『居は気を移す・きよは きをうつす』というように人は住む場所や環境によって、考え方や性質も変わるといので、どのような所にいるかが重要です。

学習する時には姿勢が大事です。アメリカで

次のような実験が行われました。

それは、10人の組を2つ作り、箱を組み立てる作業をする時に、A組には猫背などにならないようなよい姿勢で作業をさせます。B組には何も言わないので、だらしのない人や猫背がいます。

結果はよい姿勢のA組が20%も速くできました。今度はB組には姿勢を正して作業させA組にはだらしなくても何も言いません。

結果はB組が速くきれいにできました。姿勢の良さが出来不出来に影響しました。

ところで、会議は立ってするのが能率もよくよいアイデアが出るといいます。イスは硬いほうがよいといえます。学校のイスはその点よいそうですが、机の高さとの間隔が大事です。

やわらかいソファのようなイスでは集中して学習できないと思います。いねむりするにはよいでしょうがね。

懇談会での話の内容を録音しておけば大事な事を確認するには便利です。ところが改めて聞くと机やイスを動かす音や、咳をした時の音など周囲のちょっとした音が耳障りになるほど聞こえます。

機械だからすべての音を全部拾うので雑音として聞こえるので困ります。録音ではなくその場において話を聞く時には自分に必要な音、言葉だけを集中して聞き取るのではっきりと聞こえます。

さて、新しい学年になりひと月が経ちました。中学や高校の1年生になった人はこれまでとはガラリと違う環境の中ががんばっています。勉強もだんだんむずかしくなり、好き嫌いな学科もあることでしょう。部活動でも疲れます。

皆さんの仕事は元気よく休まず通学することであり、そのなかにあつて友だちとの会話や部活動など多方面でのガンバリです。

学習を効率よく続けるための環境づくりが大切です。よい姿勢で集中して取り組みよい効果を得るには自分に合ったやり方を考え根気よく実行していきましょう。家族の助けを得て、勉強しやすい環境を工夫してつくみましょう。